



令和4年6月27日発行

立山町教育センターだより 号外7

立山町教育センター 〒930-0221 立山町前沢 3318 TEL: 463-4407 FAX: 463-6622 URL: <http://www.tateyama-c.tym.ed.jp>

6月24日(金)学校運営研修会が開催されました。各校でリーダーシップを発揮する先生方が、立山中央小学校深山校長先生の情熱あふれるお話を聞き、これからのあるべき学校の姿について深く考えました。また、グループワークでも活発な意見交換がなされました。

第1回学校運営研修会 R4.6.24 立山中央小学校にて

学校のリーダーに必要な資質 立山中央小学校 校長 深山慶太先生

① 教員の仕事は 忙しい?大変?負担?って本当ですか?

- 学校現場における「忙しい、大変だ、負担だ」に順位をつけました。グループによって仕事内容が違うためか、「忙しい」が一番の教頭グループ、「大変だ」が一番の担任グループ等、様々でした。深山校長先生からは「言葉は違うけれども、中身は一緒。時間がないということです。しかし、その要因が取り除かれれば、事はスムーズに進むのでしょうか?大変だけど、なくせないものはあるのではないのでしょうか」と問いかけがありました。



② 深山校長先生の教員生活を振り返って

- 1985年ごろから2022年までを振り返り「変わらないようで変わったことは何だろう?」という問いかけがありました。様々な仕事が「手書き」から「PC入力」へ。これが大きな変換でした。「以前は何でも手書きでした。莫大な仕事量をこなして今は時間が削減されたのになぜできないことが多いのでしょうか?」という問いかけに、参加者が考え込んでしまいました。
- 「負担、忙しい、大変⇔働き方改革」これはワードの使い方が違うのに、同じ扱いをしていないか。行事、仕事を縮小、削減すると弊害も起きてくる。例えば、指導案は簡略化してA4一枚になどと言うと、書かなくてもいいと勘違いしてしまう恐れがある。指導案や、所見、子供の見取りができない先生が増えてくるのではないか」この言葉には大きな危機感が込められていました。

【感想から】

- 「5年後、10年後に向けて私たちは何ができるのだろうか」この問いかけは非常に重く、深く私の心に響きました。
- 大先輩が退職されることに、改めて不安を抱きました。今のうちに教えていただけることを吸収し、次の世代の先生方に伝えていかなければならないと思いました。

深く、熱い想いを真摯に受け止め、リーダーとして必要な資質を改めて考えていきます。深山校長先生、ありがとうございました。

文責 釜ヶ淵小学校 教頭 小杉 友美

